

都市再生整備計画 事後評価シート
三次市中心市街地地区

平成23年2月

広島県三次市

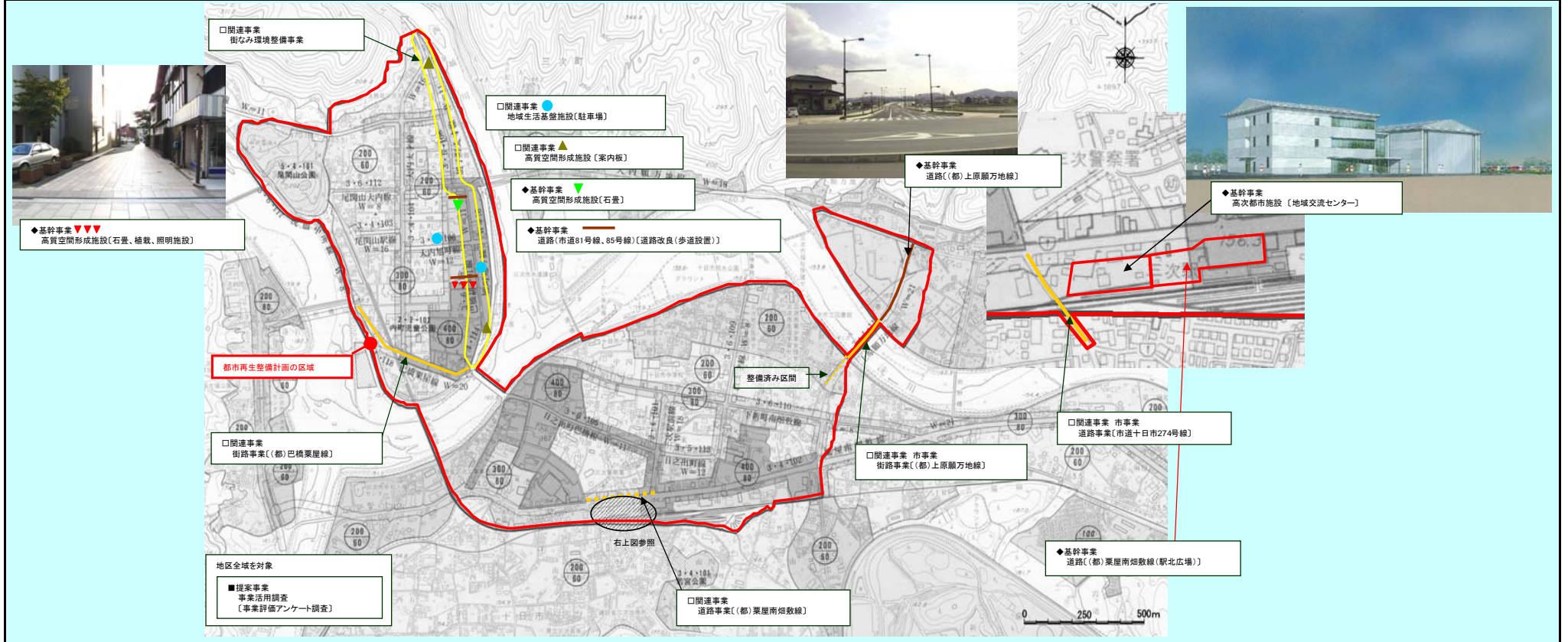
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	三次市	地区名	三次市中心市街地地区			面積	216ha				
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,535百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 ・道路事業（都）粟屋南畑敷線（駅北広場）、市道81号線、市道85号線、（都）上原願万地線・高質空間形成施設事業（植栽（市道85号線）、照明施設（市道85号線）、石畳舗装（市道81、85号線））・高次都市施設事業（地域交流センター） ・事業活用調査事業（事業評価アンケート調査）										
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初		平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更		なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
	指標1	イベントへの来場者数	千人/年	99	H16	120	H22	モニタリング	評価値	○	あり なし	三次町地区の石畳整備等の高質空間形成により回遊性が高まり、観光客が増加し、地域の自主活動によるマップ作成やアートギャラリー、夜市等、地域の活性化も推進された。	平成24年5月
	指標2	公共交通（JR・バス）の利用者数	千人/年	532	H16	516	H22	モニタリング	評価値	△	あり なし	人口減少や高齢化の影響に加え、南北自由通路、交通センター整備他の先送りが間接的に影響し、目標値は未達成だが、イベント実施等との相乗効果で近年の乗降客数の減少は横ばいになった。	平成24年5月
	指標3	商品販売額の減少率	%	2.0	H16	2.0	H22	モニタリング	評価値	△	あり なし	関連事業の民間事業（商業、居住機能）の削除が大きく影響し目標の達成には至らなかったが、三次町地区の高質化や地域の取組により販売額の減少率に歯止めが見られた。	平成25年8月
	指標4	住民満足度指数	—	330	H11	345	H22	モニタリング	評価値	○	あり なし	三次町地区の高質空間形成や関連する街路事業の事業効果で住みごこちに対する満足度がアップした。また事業計画への市民参画により今後のまちづくりに関する市民のコンセンサスが形成された。	平成24年5月
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	三次本通り商店街における営業店舗数	箇所	43	H17		モニタリング	評価値	△	あり	三次町地区の高質化等の効果により、営業店舗数は増加しており、改善傾向にある。	平成24年5月	
4)定性的な効果発現状況	・石畳等の整備とあわせ地域、行政と協働して色々なイベントの企画を行っており、商店街の活性化に取り組んでいる。 ・十日市コミュニティセンターの部屋数、面積の拡大により活動内容の多様化や規模の拡大など利用者側からの期待の声が挙がっている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	三次市景観評価委員会、十日市コミュニティセンター建設検討委員会、十日市コミュニティセンター建設推進委員会にて整備内容を協働で検討した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				景観評価委員会は駅周辺事業に関して継続して審議を行う。コミュニティセンターの委員会は供用後は施設利用・運営を支援する活動を継続していく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	三次町歴まち協議会の活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				中心市街地でのイベント企画など地域交流センターや高質化した街路空間を活用した市民活動の活性化にむけて行政は側面支援を行う。					

様式2-2 地区の概要

三次市中心市街地地区(広島県三次市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：市民・行政・民間が協働し、駅周辺を核とした魅力と活力に満ちた新市にふさわしい中心市街地づくり 目標1：交通拠点、にぎわいの拠点などの明確な都市核の形成を図る。 目標2：個性を磨くとともに、まちの回遊性・利便性の向上を図る。	イベントへの来場者数	単位：千人/年	99	H16	120	H22	125	H22
	公共交通(JR・バス)の利用者数	単位：千人/年	532	H16	516	H22	501	H22
	商品販売額の減少率	単位：%	2.0	H16	2.0	H22	5.2	H22
	住民満足度指数	単位：なし	330	H11	345	H22	346	H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・十日市コミュニティセンターの整備実現(工事中)により、賑わいの創出がされ、玄関口である三次駅周辺のシンボル性が向上する。 ・交通結節点として、鉄道、バス、乗用車等の乗り換え環境の改善に向けた、用地確保や地元合意等の基盤づくりが進められた。 ・三次町地区の高質化整備の効果等により、中心市街地内で実施されているイベント来場者数は増加した。また、商品販売額の減少率は改善が見られた。 ・上原万願寺線の整備を推進し、部分供用が開始され一部ではあるが利便性が向上した。 ・事業実施に際して、パブリックコメントやワークショップ、地元の検討委員会等の実施により、市民と協働による事業推進がされた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・核となる施設(コミュニティセンター)は完成するが、もう一つの核となる駅舎の改築や交通広場、国道の整備等において、玄関口として統一されたシンボリックな景観となるよう引き続き整備を行う。 ・コミュニティセンターの活用に向けて、行政は市民の活動を側面支援する。 ・交通広場整備(一部)、南北自由通路や観光情報発信施設、JR駅舎の改築等駅周辺全体の一体的な整備により誰もが障害なく利用できる交通結節点の形成が可能となる。また、バス路線の集約やダイヤの改正等、各事業者との調整・検討を実施する。 ・三次町地区周辺での回遊性は高まったため、今後は三次町地区と十日市地区(駅周辺)の連携や三川合流部周辺整備との連携を強化し中心市街地地区全体の回遊性を高めるための施策を実施する。 ・都市計画道路等によるネットワークの構築による、自動車及び歩行者の安全な通行を確保し、利便性・満足度を高めていく。